

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'95

4

月号【1日発行】



かお
春の貌



いまを話す

神奈川骨髓移植を考える会

川崎支部代表の高橋眞知子さん

9歳で逝った
息子の思い込め
血液病患者に命の贈り物を

Stage Up 4 月号もくじ/1995年

■ほんねインタビュー いまを話す ————— 4

神奈川骨髓移植を考える会

川崎支部代表の高橋真知子さん

9歳で逝つた 息子思い込め 血液病患者に命の贈り物を

●はりきってます グループ紹介 ————— 8

くらしの中から問い直す

憲法を学ぶ会(中原区)

さまざまな伝統学ぶ

つるかわ中国文化研究サークル

●学習・文化情報/会員募集 ————— 10

小誌配布場所 ————— 14

ミニニュース、読者の声、編集後記 ————— 15

◎表紙絵……春の貌かお ————— 田中 保さん

(小誌は再生紙を使用しています)

当事業団主催講座

初めてふれる

ワープロ講座 I

期 間	5月16日(火) 17日(水) 19日(金) 10:00~16:00
定 員	30人
受講料	8,000円
教材費	1,500円
申込期間	4月18日(火)~28日(金)

初めてふれる

ワープロ講座 II

期 間	6月13日(火) 14日(水) 16日(金) 10:00~16:00
定 員	30人
受講料	8,000円
教材費	1,500円
申込期間	5月16日(火)~26日(金)

会場はどちらも川崎市教育文化会館学習室

- 受講対象は市内在住または在勤の方。
- 使用機種は NEC PC9801DX-U。
- 申し込み・問い合わせは(財)川崎市生涯学習振興事業団川崎分室 ☎233-6250
応募者が定員を超えた場合は抽選。

かけ
 “音楽のまち かわさき”へ翔よ
 新人音楽会オーディション合格者



シューマンの「謝肉祭
 作品9」を見事にピアノ
 独奏し聴衆を魅了した
 千田栄子さん（桐朋学園
 大学音楽部3年）

「かわさき新人音楽会」（ニュー
 イヤーコンサート。市教委、当
 事業団主催）がこのほど、市教育
 文化会館大ホールであり、21世紀
 の“音楽のまち かわさき”を翔
 ると期待される5人の若き音楽家
 が出演、観客から盛んな拍手があ
 ぐられた。5人は昨夏、この音楽
 会に出演を目指すオーディション
 （審査委員長・吉田貴寿昭和音楽
 大学学長）の合格者たち。グラフ
 で熱演の表情を再現した。オーデ
 ィションは今年7月にも開く。



ヴォルフの「ねずみ捕
 り」など2曲を独唱し、
 オーディション時より格
 段の歌唱力に会場が沸い
 た谷口伸さん（会社員）

ポツパーの「チェロ協
 奏曲ホ短調 第1楽章」
 をチェロ独奏で繊細に表
 現して会場を陶醉させた
 丸山朋文さん（川崎市立
 白山中学3年）



ゴトコフスキーの「ブ
 リランス」をサクソフォ
 ンの美しい調べにのせ独
 奏した多田新一さん（洗
 足学園大学音楽部2年）



園大
 学音
 楽部
 4年
 ）
 た船
 石桐
 子さ
 さん
 （洗
 足学
 校）
 体全
 体の
 マリ
 ンバ
 ルト
 の独
 奏し
 を
 リン
 バと
 オー
 ケス
 トラ
 の
 ネイ
 ・ロ
 サウ
 の
 ムマ



演奏者の肩書は当時のものです。

いまを話す

神奈川骨髓移植を
考える会川崎支部代表の

ゲスト

高橋 眞知子 さん

Vol. 33



9歳で逝った息子の思い込め 「血液病患者に命の贈り物を」

「子どもは、みんな元気なのが当たり前と思っていました。二男の悠が血液の難病にかかるまでは」。元川崎市立小教諭で、「神奈川骨髓移植を考える会川崎支部」代表の高橋眞知子さん(46)は涙をこらえ、「明暗の分水嶺」を話す。悠君は一昨年十二月、急性骨髄性白血病で九年間の短すぎる生涯を閉じた。それから一年余。悠君への熱くつらい思いは、骨髓バンクの活動を以前よりも活発にする。「あなたの骨髓で、血液患者の命が救われます」と、きょうも市民に協力を求める。ネックは、骨髓を提供するには入院が必要なこと。高橋さんは「社会のための「休養」を。いのちの贈り物を」と究極のボランティアを呼び掛ける。インタビューは椎野和枝さん。

——最近、マスコミでも骨髓移植のことが取り上げられるようになりました。高橋さんが、骨髓移植推進財団の普及広報委員になられたきっかけは。

高橋さん 五年前、二男の悠が血液の難病になり、初めて骨髓移植のことを知りました。看護のかたわら、ボランティアで骨髓バンクの活動をしてきました。残念ながら悠は亡くなりましたが、移植を希望する患者さんは、現在も二千人を数えます。ドナー(骨髓液提供者)が増えれば、もっと多く

の命が救われるんです。骨髓バンクに関わっていくことが息子への最大の供養ではないかと……。

——それまで病氣と、まったく縁のないご家庭だったのですか。

高橋さん はい。当時、五歳の悠は保育園に通い、病氣知らずのわんぱくな子でした。七歳上の長男と私の母、夫の五人家族の共働き家庭でした。私は教師を天職と思いい、仕事に打ち込んでいました。悠の発病当時、一年生の受け持ちでしたが、今も私の活動を支えて下さっているのは、そのころの生徒と親御さんです。

——どんなきっかけで難病が分かったのですか。

高橋さん かぜのような症状の微熱が続き、そのうち、まぶたに紅斑が出たんです。母が病院へ連れていき、血液検査をした結果、再生不良性貧血と診断されました。職場に電話が入ったとき、手足が震え体全体が崩れ、同僚の先生が支えて下さったほどです。

——それは大変な衝撃でしたでしょう。悠君には何と説明をしたのですか。

高橋さん 入院先の医師が自然な形で「悠君の血をつくる工場が

闘病生活

「ばい菌と戦う兵士足りない」 弱音はかず無邪気に

お休みしちゃった」と話して下さいました。この病気は、血液をつくり出す骨髄の機能が低下し、白血球も減るため、病気への抵抗力が落ちます。

——悠君は初めて両親から離れて、一人で入院された……。



高橋さん はい。普段は明るい子です。ウルトラマンが大好きで「シワワーっ」とやったり。ところが、入院後はわがままを言わず「僕の体の中は、ばい菌と戦うミクロの兵士が足りないんだ」と、無邪気に言うんです。面会時間が終わる午後七時には「帰っていいよ」と。それが悲しくて。

二月の街路樹の葉が全部落ち、寒々とした月明かりの道を夫と泣いて帰りました(目をしばたかせ)。

——深い悲しみの中、ご夫婦で血液難病の治療に実績のある名古屋第一赤十字病院に転院させるなど最善を尽くされたそうですね。

高橋さん 愛しい子を何とか助けなければの一心でした。悠は薬の副作用で、ムーンフェイス(顔が丸くなる)になり、採血も数千回になりましたが、一度も弱音を吐いたことはありません。それで「この子なら必ず病気に勝てる」と希望を持ちました。

——悠君の健気な闘病生活に母親のあなたが励まされた(涙ぐむ)。手厚い看病と治療が効を奏し、一時は快方に向かわれた。

高橋さん 「悠がわが家の庭を二度と見ることはない」と覚悟の入院でしたが、八カ月間で名古屋の病院を退院できて、本当にうれしい九一年の春でした。入学式の

朝、真新しいランドセルを背負った姿が……(言葉が詰まらせる)。

——つらいことをお聞きしてごめんなさいね。

高橋さん いいんです。お氣遣いなく、悠が病気をしたから感じられる幸福感で、春の風景が目染みるように美しく輝いて見えました。

——学校生活は、普通にできたのですか。

高橋さん はい。南菅小学校でつかの間でしたが存分に楽しみました。ところが、秋に骨髄異形成症候群(MDS)になり、翌九二年の春、悠は二年生に進級しましたが、助かる道は骨髄移植だけとわかり、春の輝きから真つ暗闇に蹴落とされた感じでした。

(数秒間の沈黙)。



女の生き方を
見つめる
椎野和枝さんが聞く

高橋 眞知子 さん

たかはし・まちこは1948年新潟県生まれ。71年、新潟大学教育学部卒、川崎市立小教員に。92年3月、二男悠君の看病のため21年間の教職を去る。以後ボランティア活動に参加、川崎でシンポジウムを3回開くなど骨髄バンクの啓発に努める。悠君が93年春、骨髄移植を受けるが、同年12月11日、原因不明の感染症で急逝。現在、(財)骨髄移植推進財団普及広報委員、神奈川骨髄移植を考える会副代表、同川崎支部代表。夫、長男と多摩区菅仙谷に住む。

高橋さん そして、その夏、急性白血病と診断され再び入院し、九三年二月にやっと悠に適合するドナーが見付かり移植を受けたのですが、その年の十二月に原因不明の感染症にかかり亡くなりました(くちびるをかむ)。

——悠君は骨髄移植を受けましたが亡くなりました。しかし、骨髄バンクの活動を続けられてますね。挫折感はなかったのですか。

高橋さん 悲しみを抱き込んで

退院、入学 つかの間の春

悲しみに耐え 骨髄バンク活動

生きるのも一つの方法です。それを批判する権利はだれにもありません。親にとって、幼い子に先立たれるほど、悲しいことはありません。けれど、その親は生きなくてはなりません。

—— 本当にそうですね。親は悲



わがままもいわずに……。初めて親と離れての入院。弱音も

しみを乗り越えなければ。

高橋さん そうだとしたら、自分の体験を多くの方々に聞いてもらうことも大切だと思っただけです。二十一年間の教え子たちが「先生は、どのように生きるのか」と、私を見ていると思うんですね（声を詰まらせ）。

—— まだ、骨髄移植とはなにかを分からない方もいますが……。

高橋さん ええ、私も悠が病気になる前は知りませんでした。骨髄は、腰や胸の骨の内部にあるゼリー状の組織です。血液をつくる元の幹細胞が生成されているんです。その幹細胞がつかれていくと状態が再生不良性貧血です。幹細胞をつくってはいませんが、がん化した細胞もつくるのが白血病です。白血球の型(HLA型)は、個人によって異なり、型が合わないとい移植できないそうですね。

高橋さん はい。兄弟の間でも四分の一の確率です。残念ですが、

悠は家族の型と合いませんでした。ですから、非血縁者に頼らざるを得ません。名古屋にある民間の「東海骨髄バンク」は患者とその家族、ボランティア、医師で発足したのですが、その原動力は母親たちの切なる願いです。

—— 悠君に合うドナーを探す一方で、ご夫妻もドナーにもなられたそうですね。



高橋さん 私たちの骨髄は悠には合いませんでした。けれど、どなたかのドナーになれるわけですから「差し上げたい」と。

—— 精神的余裕のない状態で、ドナーになられた……。

高橋さん それまでの私は、ヒマワリが太陽に向かうような四十人の健康な子どもたちしか知らなかったのです。でも、多くの難病に侵された子どもがいたんです。「この子どもたちが助かれば、うちの

子も助かる」との思いでした。

—— だけれど、ふだんは健康が当たり前とばかり思っていますものね。

高橋さん ええ、今までこんな世界があるとは知らなかったのだから迷わずドナー登録をしました。

—— 活動している高橋さんのエネルギー源に触れたような気がします。でも、現実にはドナーになるには、理解だけでなく時間的制約などの難しい面もありますね。

高橋さん 一つは、精神的な土壌づくりが大切です。社会とのつながりを自覚して、共に生きることを模索している人は、たくさんいると思うんです。ドナーになる行為もその延長線上にあります。突飛なことを言うようですが、「いじめ問題」も決して骨髄バンクと無関係ではない気がします。

—— といいますと？

高橋さん 他の人を気遣う生き方の芽生えがあれば、弱い者いじめをしないと、骨髄バンクは「人間の弱さを知り、相手の身になって考え、人を大事にする行為」です。青少年が、人間として当たり前の意識を身に付けられる社会づくりの一つに、骨髄バンクを広げる運動があると考えて

います(静かな口調で)。

「いじめは人権意識の欠如」とよくいわれますが、具体的な活動の中で人権意識が育つのですね。

高橋さん (うなずきながら)

もう一つ大切なのはマスコミの協力です。多くのマスコミの方が、骨髓バンクに理解を示して下さいます。今後自分の体験を赤裸々に話すことによって、報道をしていただけたらと思います。また、



今後もしンポジウムを開いて、市民の方々に参加を呼び掛けます。

—— 骨髓を提供する時は、入院をするわけですね。ボランティア休暇を与えるなどの制度化や、医療情報のネットワーク化が、ドナー登録者を増やすうえで不可欠だと思いますが。

高橋さん ありがたいご意見です。悠が病気になった時、情報不足に悩みました。まだ、ドナー休

暇は一部の企業や公務員だけなので、一日も早く看護休暇と合わせ、制度化を急いでほしいですね。

—— 川崎市や川崎市議会が、国や企業に働き掛けて実現を……。

高橋さん 私は「若者を一人でも死なせてなるものか」という気概で活動しています。それは病死だけでなく、いじめや交通事故による死もです。ドナーの善意によって患者が治癒することをいっばん大事にしながら。

—— このお部屋には、悠君の元気なころの写真や、生命感あふれるクレヨン画などが飾られています。印象に残っている悠君の言葉はありますか。

高橋さん 亡くなる一週間前、主人と近くの本屋さんに行き、店主の親切に「お父さん、心の温かい人だね。いつもこの本屋さんで買おうね」と言ったのです。「悠が、敏感に人の温かさに気がつくようになった」と主人が喜んでいたので、



一時は回復し、学校生活を楽しむ悠君

ですが……。今、そのことが「人間にとっても大事なこと」と実感しています。

—— 高橋さんは、悠君の看病をしながら、ボランティア活動をなされたと思われました。悠君が亡くなった後、ボランティア活動への取り組みを強めている印象を受け、気丈な方と敬服しています。

高橋さん 活動をすることで、

骨髓液提供者

人権意識高めドナー増を

ボランティア休暇の制度化も急務

いつも悠と一緒にいられるんです。悠が心の中にあるので、強くも優しくもなれる、と思っています。悲しさを抱え活動すると、他の方の心のつらさが分かるんです。

—— ドナーの体験もあり、ボランティアとしての強みですね。

高橋さん ドナーへの協力を募るだけでなく、骨髓提供者は生身の人間で痛い思いをすることを患者・家族が肌で認識しないと。

—— 患者・家族の方が、ボランティアに感謝の気持ちをと。

高橋さん 恥ずかしいことですが、教師の時は仕事柄「ありがとうございます」「お願いします」の言葉を心底から言わなかった気がします。骨髓移植に関わって、人に対する気持ちが変わり、素直に感謝の言葉が出るようになりました。

—— 骨髓バンクの登録者が着実に増加し、すべての血液の難病患者の方が全快することを祈念いたします。ありがとうございます。

題字は高橋 清・川崎市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 閑

★骨髓バンクについてのお問い合わせは ☎ 03(33355)50
41の財団法人骨髓移植推進財団。

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生きと。



戦争の過ち見つめ 読売試案を疑問視

五月三日は「憲法記念日」。

この日のテーマは「今、憲法を考える意味」。昨年十一月、読売新聞社が「憲法改正試案」(読売試案)を発表したが、現憲法と読売試案とを比較して検証した。関心が高かったのが、読売試案で簡素化された「前文」と「国民主権」「戦争放棄」。

講師の渡辺賢一・同教育研究所長は、七つポイントを挙げて解説。▽前文について、読売試案は、

戦争の過ちの歴史的背景や「平和のうちに生存する権利」を消した▽戦争放棄が、読売試案では「自衛のための組織」を認め「平和の維持及び促進並びに人道的支援に自衛のための組織の一部を提供」と海外派兵を可能にし、非核三原則のうち「持ち込ませず」を欠落させ、核兵器の持ち込みに道を開いた▽国民主権では読売試案が、

務を負心」と権力者の憲法尊重義務を明記、読売試案は「国民はこれを遵守しなければならない」と国民とした、など。

会員はメモを取り説明に耳を傾ける。会員が「前文が整理され過ぎ、目的が分からない」「韓国憲法でも歴史的経過が盛り込んでいるが読売試案は削除」「どの国でも戦争をする時『平和のため』という侵略のためとは言わない」など活発に意見を述べ合う。

同会の発足は一九八九年の一月、中原市民館の成人学級「現代社会を読む」の受講者で結成。

篠原和子さん(55)は「会員同士で触発しあい、自分の世界が広がった。憲法を日常生活の中で実践したい」と目を輝かせる。

木下秀子さん(36)は「新聞で社会が分かる、は間違いない。学ぶ場を大切にしたい」と話す。

永田代表は「さまざまな考えの人と憲法を学び、疑問を持つ人生がとてもすてき」と話す。

連絡は、幸区南加瀬一の一の六の三〇二、☎(5999)3415の吉澤ひとみさん。

日常のくらしの中から憲法を考えようと「憲法を学ぶ会」―永田 所で地道に学習会を開いている。「美代表(41)ら十人は、毎月第一土曜の午前、中原区の法政大学 戦後五十年、悲惨な戦争体験と憲法への「風化」の心配はないか。

「1945年5月14日」を問う

憲法を学ぶ会(中原区)

国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」と

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・熊野史子

ワイド版

はりきってます グループ紹介

わらわらな伝統をぶ

つるかわ中国文化研究サークル

経済のめざましい発展を続ける中国に、いま世界の熱い目注が注がれている。その伝統的文化を幅広く学ぼうと「つるかわ中国文化研究サークル」の田井光枝代表ら九十二人は活動している。

この日は、サークル活動の一つ「京劇を楽しむ講座」。京劇のいろいろな型や決まりを「まなぶ」として知って、劇を見る楽しみを増そうと企画した。会場の麻生市民館視聴覚室には、制服のままの女子高生や中年の男性、七十歳の女性など約二十人が集まり、中国文化への人気や年代、地域ともに広がりを見せていることをうかがわせる。

講師の東京京劇団団長、張紹成さんが、ビデオを見せながら役の細かい動作や衣装、小道具について流暢な日本語で解説する。生と云われる主役、女性の旦、くまどり役の浄、道化の丑とそれぞれの役割を話す。張さんの身振り手振りを交えての体験工ヒソードが、

京劇をより身近なものにする。

会員は実際に見た舞台と重ね合わせて聞いているのか、うなずいたり、笑ったりと熱心に聴き入る。

京劇 気功 料理...
広がる関心と交流



同会は三年前、田井代表が「中国語を学びましょう」と仲間を募り、始めた。会の体験講座「気功」で、指導者に俳優の張さんを招いたことから、京劇への関心も高まり、会員の興味は中国語、気功、京劇、さらには薬膳料理へと広がった。

会では、京劇や料理の醍醐味を会員以外の市民にも味わってもら

いたいと、町田や新百合ヶ丘のホールで鑑賞会や講座を開いている。企画制作からチケット販売まで、すべてを自分たちで運営し、千人の会場が埋まる盛況にしばしば感激している。

十一歳まで中国にいて京劇を鑑賞していた今川郁子さん(61)は「麻生市民館のサークル祭で中国焼き鳥を売っていたメンバーが、京劇のお面を描いたTシャツを着ているのを見て、うれしくなり入会。日本にいて京劇が見られるのは最高です」と笑顔。

東京の高校講師、西幹照子さん(27)は「京劇が総合的にわかる講座は他にはありません」と知的好奇心が満たされている面持ち。

田井代表は「他国の文化を知ることとは自国の文化を知ることにつながる。行政に頼らず、地域で世代間交流をして仲間づくりができれば、よい老後が送れそうです」と「民際外交」に意欲を燃やす。

同代表宅は町田市能ヶ谷町一五二一の五八。☎0427(34)5100。

文 / 小誌・熊野史子
カメラ / 小誌・山本綾子

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

講座・講演

「緑の教室◆市緑化センター」5月10日～来年4月3日の毎月第1水曜(5、11月、来年1月は第2水曜)13時半から、全12回。同センターの職員らが、園芸全般について基礎知識の講義と実習。対象は市内在住者。受講料4千円、教材費は別。定員40人(抽選)。申し込みは4月12日(水)13時半に同センターへ直接☎(911)2177。

「春の公開講座◆桜美林大学」5月11日～6月29日の毎週木曜10時半から13時からの1日2講座、全16回。各分野にわたる文化講演。毎回講師とテーマが変わる完結式。受講料は5千円。定員先着154人。申し込みは、はがきに住所、氏名、電話番号を記し〒194-102町田市常盤町3758、同大外国語センター☎0427(97)2

661内線276。会場はJR横浜線淵野辺駅からバス。「聖マリリアンナ医科大学東横病院市民健康セミナー」

◆市中小企業・婦人会館」4月8日(土)14時から。「更年期障害と治療法」テーマに佐賀正彦・同病院産婦人科部長が講演▽自由討論で参加者の質問、相談も。受講無料。定員140人。申し込みは当日会場。問い合わせ☎(722)2121内線522の同病院庶務課。

「歌声のひろば◆県立高津青少年会館」4月6日～6月29日(祝日を除く)の毎週木曜19時から、全12回。対象は青年。定員15人。申し込みは☎(844)2101の同館。

「①ビジネス英語②中国語研修◆市産業振興会館」①は6月6日～12月12日(祝祭日と8月8、15日を除く)の毎週火曜。対象は若干の知識を持っている人。受講料10万円②は6月8日

～12月14日(祝祭日、8月10と17日を除く)の毎週木曜。対象は初心者。受講料11万円。いずれも時間は18時半から、全25回。ネイティブ・スピーカーで実践会話訓練や当該国の文化、習慣、発想などの知識の吸収も。定員8人。申し込みは5月10日(水)までに☎(548)4119の市産業振興財団・情報開発課。「バッチワーク教室◆サンライフ川崎」5月12日～7月14日の毎週金曜9時半から、全10回。講師は津田谷富美子・こっとんくりえした。受講料2060円、教材費千500円。定員先着30人。申し込みは4月13日(木)から☎(344)1777の同所⇨京急八丁畷駅下車。

「ツールペインティング講座◆登戸ドレスメーカー学院」4月11、25日、5月9、23日の火曜11時から、全4回。花、鳥、風景を家具、小物に描き芸術性の高

い装飾品を作る。受講料は1万4千円、教材費は別。申し込みは午前☎(911)2221の同学院⇨小田急線向ヶ丘遊園駅下車。「①ワープ講座②カラ

オケ講座◆麻生老人福祉センター」①は6月5日(月)～9日(金)10時からと13時半から、全5回。通知文を作る。講師は富士通インストラクター。教材費3千円。定員は各30人②は6月19日～7月24日の毎週月曜13時半から、全6回。楽譜を読み楽しく歌う。講師は川村善一さん。教材費千800円。定員30人。①②とも対象は市内在住の60歳以上の方で初心者。①は5日連続で通える方。申し込みは4月19日(水)～28日(金)に同センターへ直接来館か、4月26日(水)までに、はがきに講座名、住所、氏名がきに講座名、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、年齢、性別、電話番号を記し〒215麻生区金程2の8の3、同センターへ。問い

合わせは☎(966)1549の同センター。「①男の料理教室②食生活講座◆麻生老人福祉センター」①は4月12日～5月10日～6月7日の水曜②は4月19、26日～5月17、24日～6月14、21日のいずれも水曜で毎月1回を選択。①②とも時間は9時半から。テーマは4月「毎日の食事で健康に」バランスを考えて食べましょう▽5月「毎日のお昼ご飯」電子レンジも上手に使って▽6月「1500kcalのパラ

「青少年音楽講座①コーラス②クラシックギター③

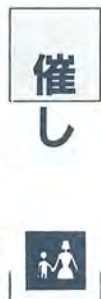
学習・文化情報

参加したい催しがある

吹奏楽◆県立川崎青少年会館①は4月6日～6月29日の毎週木曜②は4月7日～6月30日の毎週金曜③は4月8日～6月24日の毎週土曜。いずれも時間は18時45分から。対象は16～30歳。受講無料。定員は①16人②15人③20人。申し込みは☎(222) 5282の同館。

「国際語工スペース」入門講座◆市総合自治会館①5月12日～7月14日の毎週金曜19時から、全10回。会費はテキスト、資料代、会場費で一般6千円▽中・高校生3千円。川崎工スペースト会主催。申し込みは18時以降に☎(533) 1906の北川さん。

「ひかりの村」建設のための友愛セーラー◆ひかりの家①4月22日(土)と23日(日)10～15時。「ひかりの家」(古沢妙代表)の人たちの手づくりクッキーマケキマキャラクター和紙工芸品と市民から寄せられた日用雑貨など2千点を格安で。



「ひかりの村」は、知的障害者と高齢者が、一緒に暮らし仕事をすすめる「共生の家」で3年後、県内に建設をめざす。会場はJR南武線平間駅から徒歩3分。問い合わせは☎(455) 0538のひかりの家。

「市民天体観望会◆川崎授産学園」5月13日(土)18時半から。月面、火星、春の星座を観望。雨、曇りの時は室内で天文集会。参加無料。小学生以下は保護者同伴。問い合わせは☎(954) 5011の同園・池田さん。

「ワクワク万華鏡②木の葉メール◆市青少年科学館」①は4月30日(日)14時から。手作りの万華鏡で植物観察をする。対象は小学4年以上。定員先着25人。筆記具、カッター持参②は5月7日(日)13時半から。オリジナルはがきを作る。持ち物は筆記具、はがき、タオル2枚、はさみ、エプロン。定員先着20人。小学生低学年は保護者同伴。申し込みは①4月19日(水)②4月18日(火)から☎

(922) 4731の同館。

「①化石採集会②親子の地層探検教室③初心者のための野鳥クラブ◆浅川平山橋下流ほか」①は5月5日(金)10時半に京王線平山城址公園駅改札口に集合。平山層産の貝、化石などを採集。持ち物は弁当、筆記具、千枚通し、ハンマー、マイナス大型ドライバ。雨天中止②は5月13日(土)13時半から。生田緑地で川崎の地質、岩石、化石について探検③は4月29日(土)から毎月1回、1年間。29日(土)は10時に京浜急行大師線小島新田駅改札口集合。大師河原で野鳥を観察。対象は小学4年以上で継続参加のできる人。持ち物は筆記具、敷物、図鑑、双眼鏡。定員は①先着20人②30人③先着15人。申し込みは①③4月18日(火)②4月21日(金)のいずれも9時から☎(922) 4731の市青少年科学館。

「①市民天体観望会②天体写真撮影会◆市青少年科学館」①は4月29日(土)19時から▽5月6日(土)19時半から。月、火星など観望。雨、曇りの時はプラネタリウムで星の話②は5月28日(日)19時半から。火星を撮影。対象は小学5年以上。定員先着14人。持ち物はフィルム、一眼レフカメラ。雨、曇りは中止。いずれも小学生は保護者同伴。申し込みは①不要②4月20日(木)9時から☎(922) 4731の同館。

「①小学生天文教室②中学生天文教室③発明教室④生物教室◆市青少年科学館」①は5月14日(日)16時半から全11回、1年間②は5月21日(日)17時半から全11回、1年間③は4月23日(日)9時から全23回、1年間。紙、木工の工作④は5月20日(土)から毎月第3土曜14時から、全9回。自然の観察や工作。対象は①小学4～6年生②中学生③④小学4年～中学生で、いずれも継続参加のできる人。定員は先着①②30人③40人④20人。申し込みは①②4月20日(木)③④4月15日(土)いずれも9時から☎(922) 4731の同館。

同館。

「子どものびのび広場◆県立川崎青少年会館」4月8、22日の土曜10時から、卓球、遊びコーナー▽4月8日(土)10時から、囲碁コーナー、14時からギターコーナー、▽4月22日(土)10時から将棋コーナー、13時半から字をきれいに書く教室。いずれも対象は小学～高校生。参加無料。定員は各10人。申し込みは☎(222) 5282の同館。

「川崎市域の自然環境調査」ボランティア募集◆市青少年科学館①川崎南部の自然を中心に環境を調査する。4月4日(火)から登録開始▽22日(土)14時からエポックなからはらでオリエンテーション▽5月14日(日)10時から多摩川河口で調査実習。問い合わせは☎(922) 4731の同科学館。

「全日本家庭犬猫コンテスト①全日本雑種犬大賞②スーパードッグ決定戦③よみうりランド・太陽の広場」①は4月9日(日)中・大型犬部門▽16日(日)小型

学習・文化情報

参加したいスポーツがある



犬(12ヶ月未満)部門。警察犬のデモンストレーションあり◎は23日(日)写真とは昨年。①◎とも時間は12時から。昨年優勝した猫は、その愛らしさから食品会社のCFモデルに抜擢された9・95ヶ月の「おデブ猫」。獣医師会のペット飼育Q&Aあり。問い合わせは☎(966) 1111の同所。小田急線読売ランド前駅からバス。

ステージ

「まちの音楽会」室内楽のたのしみ◆エポックなからはら」4月22日(土)18時開演。出演はフルート・新

谷要一マチェロ・菊地知也
マピアノ・菊池百合子。曲目はウエーバー「ピアノ、フルート、チェロの為にトリオ作品63」マクープラン「チェロの為に演奏会用5つの小品」ほか。入場料は全席自由で当日・3千円▽前売り・2千8百円▽学生・2千円。問い合わせは☎(866) 4506のタウンライブ(主催)。

「ピアノ三重奏の夕べ◆純ホール」5月12日(金)19時から。出演はバイオリン・清水高師マチェロ・松波恵子マピアノ・秦はるひ。曲目はモーツアルト「ピアノ三重奏曲第6番八長調K・548」マドヴォルザーク「ピアノ三重奏曲第3番へ短調作品65」ほか。入場料は全席自由4千円。問い合わせは☎(812) 6090の同ホール。JR南武線武蔵溝ノ口駅下車。

「川崎童謡の会2周年記念」心のうた童謡コンサート◆エポックなからはら」6月6日(火)14時開演。あの歌・この歌・なつかしい歌を一緒に楽しむ。ゲスト

は安田祥子。出演は歌とお話・塚田佳男マピアノ・小原孝マコーラスはペール・シャンテ。入場料は前売り2千5百円、当日3千円。保育あり。前売りは4月15日(土)から☎(422) 5178の川崎童謡の会・事務局(主催)。

「麻生フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会◆麻生文化センター」4月16日(日)14時半開演。曲目はシューマン「交響曲2番」マヤナーチエク「シンフォニエッタ」マドビュッシ「小組曲」。指揮は山下一史。入場料は全席自由千円。問い合わせは☎(955) 1953の横須賀さん。

スポーツ

「①やさしい気功太極拳②楽しい健康ヨーガ③親子スポーツ教室④少年スポーツ教室◆幸スポーツセンター」①は4月25日～6月27日の毎週火曜10時から。黒沼尚美・師範が楊名時気功太極拳の八段錦を基本から指導◎は4月27日～7月6

日の毎週木曜13時半から。講師は広池ヨガ健康研究所の藤波美佐子さん◎は4月20日～6月29日の毎週木曜9時半からと10時45分からの2班に分け、体操やゲームで親子のスキンシップ。指導は小野由紀子・体操指導員◎は5月11日～6月29日の毎週木曜16時から。体操、トランポリンで基礎体カづくり。対象は①◎市内在住・在勤在学で15歳以上③3・4歳児とその保護者④小学1～4年生。受講料は①◎4千円③1組3千円④480円。定員は①◎40人③50組百人④30人。申し込みは①◎4月18日(火)10時③4月13日(木)10時④4月27日(木)16時に同センターへ直接来館。問い合わせは☎(555) 3011の同センター。

「トレニング講習会◆幸スポーツセンター」5月6日～9月2日の毎月第1土曜16時から。トレニング器具の正しい使い方、トレーニングの正しい方を学ぶ。指導は永田学・トレニング指導員。対象は市内在住

在勤の中学生以上。受講料は大人120円、学生60円。定員は各回20人。申し込みは☎(555) 3011の同センター。

「武道教室①剣道②少林寺拳法③なぎなた④柔道⑤合気道◆石川記念武道館」①は5月11日～7月15日の毎週火、木曜17時から、全20回◎は5月18日～7月20日の毎週木曜18時から、全10回◎は5月13日～7月15日の毎週土曜15時から、全10回◎は5月18日～6月20日の毎週火、木曜18時から、全10回◎は5月13日～7月15日の毎週火、土曜18時から、全10回。定員は①◎◎30人④20人(抽選)。いずれも受講料は無料で毎回入館料が必要。申し込みは5月7日(日)14時に同館へ直接来館。問い合わせは☎(544) 0493の同館。

「実践空手拳法講座◆登戸ドレスメーカー学院」4月11日～5月30日の毎週火曜20時から。全8回。受講料8千円、入会金5千円、胴着代は別。申し込みは午前中に☎(911) 222

222

学習・文化情報

見たい美術がある

1の同学院 小田急線向ヶ丘遊園駅下車。

①剣道初心者教室②社交ダンス講習会③スポーツコーナー利用講習会◆県立川崎青少年会館①は4月15日②は7月22日(4月29日、5月6日を除く)の毎週土曜18時から。体操着、竹刀(持っている人)持参②は4月18日③は6月27日の毎週火曜18時45分から。基本ステップからパーティーで踊れるまでを学ぶ。対象は16歳以上。室内靴持参③は4月15日(土)18時半から。ウエイトトレーニングの基本と利用法。対象は16歳以上。①②③とも参加無料

①③は保険料千3百円。定員は①20人②男女各20人③15人。申し込みは☎(222)52822の同館。

「子育てママのリフレッシブタイム◆麻生スポーツセンター」5月16日①6月16日の毎週火曜と金曜コース。いずれも時間は9時半から、全5回。子どもを預かりエアロビクス、トレーニングで汗を流し仲間づくりをする。保育対象は平成

4年生まれの子ども。受講料は保育料込み2千2百円。定員は各15人(抽選)。申し込みは4月28日(金)10時同センターへ直接来館。問い合わせは☎(955)12344の同センター。

「麻生スポーツセンターの個人利用日の変更◆同センター」5月から、火曜午前がエアロビクス(運動量中)、夜間が柔道▽水曜午前・午後・夜間ともバドミントン▽木曜午前が健康体操(運動量は弱)、午後が卓球、夜間が卓球と剣道▽金曜午前がエアロビクス(運動量中)、午後がヨガ、夜間がエアロビクス(運動量は強)▽土曜午後がバスケットボール・体操・トランポリン、夜間がバスケット

・体力相談・空手▽日曜午前・午後ともトレーニング指導・卓球。時間は午前9時12時▽午後13時16時▽夜間17時20時。利用料は大人120円、子ども60円。トレーニング室は午前・午後・夜間の利用ができる。問い合わせは☎(955)12344の同センター。

「空手教室◆極真会館溝の口道場」祝日を除く毎週月、水、金曜17時18時半▽毎週火、木、土曜17時20時半。全日本チャンピオンで映画「餓狼伝」主演の八巻建志が指導。月会費は少年部6千円、一般部9千円。申し込みは☎(812)33699の同道場。JR南武線武蔵溝ノ口駅から徒歩4分、第一マルティビル3階。

ギャラリー

線京王よみうりランド駅からバス。

「ギャラリー幸」4月7日(金)19日(水)開設5周年記念展。11時18時同所は☎(555)8181。JR川崎駅下車。

「ギャラリー欄」4月15日(土)16日(日)「ぐるいぶ画楽多絵画作品展」栗平自治会を中心に絵を描く会の作品。同館は小田急多摩線栗平駅下車5分、白鳥中学校横。連絡は☎(987)3111の同グループ代表宅。

「川崎市市民ミュージアム」4月22日(土)6月11日(日)「安野光雅の世界展」幅広い空想と温かい夢の世界が楽しめる。代表的な原画2百点を展示。月曜休館。入場料一般7百円、小中高大生3百円。同所は☎(754)4500。JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅からバス。

「画廊ランブ屋」ランブ屋2号館オープン記念。4月5日(水)15日(土)「ピカソ版画展」。大作と小品を展示。4月19日(水)

「中村正義の美術館」4月9日(日)まで「舞妓と裸婦」展。4月15日(土)6月11日(日)「若き日の正義」展。4月22日(土)16時半18時半「みんなで語り合う会」。「正義を語る会」を改め、会場の皆さんも参加する「画家中村正義を探求する会」に。入館料一般5百円、学生3百円、小中生2百円。月・火曜休館(但し祝祭日は開館)。同所は☎(953)4936。小田急線読売ランド前駅か京王

29日(土)「前田忠一彫刻展」。同所は☎(945)4416。JR南武線・京王線稲田堤駅下車5分。

「ギャラリー華沙里」4月4日(火)まで「森秀雄展」▽4月6日(木)18日(火)「上原一郎展」。同所は☎(954)2333。小田急線新百合ヶ丘駅下車。

「Artヨシムラ」4月5日(水)17日(月)「加山英利子日本画展・花と女性」。同所は☎(965)3136。小田急線新百合ヶ丘駅下車、エルミロード6階。

「三二画廊喫茶」4月1日(土)29日(土)「木の実会俳句展」。同所は☎(544)0507。JR南武線鹿島田駅下車。

「川崎市市民ミュージアム」4月22日(土)6月11日(日)「安野光雅の世界展」幅広い空想と温かい夢の世界が楽しめる。代表的な原画2百点を展示。月曜休館。入場料一般7百円、小中高大生3百円。同所は☎(754)4500。JR南武線・東急東横線武蔵小杉駅からバス。

「画廊ランブ屋」ランブ屋2号館オープン記念。4月5日(水)15日(土)「ピカソ版画展」。大作と小品を展示。4月19日(水)

会員募集

●たまミュージカルシンガーズ(多摩区菅北浦4の15の50、前田洋子代表)歌、踊り、ミュージカルが大好きな方歓迎。4月から「マイフェアレディ」を練習し

学習・文化情報

参加したいグループがある

ます。見学において下さい。指導は佐藤文行・二期会会員や振り付けの明石京子さん。毎週木曜10〜12時、小田急線向ヶ丘遊園駅南口、タマカルチャースクールで。会費月7千円。連絡は ☎(945) 7933の代表宅。

●多摩エッセイストクラブ (多摩区生田6の25の18、堀口精一郎代表) だれにでもできるエッセイを書いて、自分を発見しませんか。毎月1回、第3か第4火曜日10〜12時、多摩市民館で。会費月5百円。連絡は ☎(966) 1876の代表宅。

●大師新生合唱団(混声) (川崎区大師町15の18、竹内昭子代表) 誕生して1年余、歌好きの仲間が童謡からモーツァルトまで練習しています。一緒に楽しみませんか。子供づれの方もどうぞ。指導は武藤真也子先生。毎週金曜19〜21時、大師新生幼稚園礼拝堂で。入会金千円、月会費3千円。連絡は ☎(266) 4005の田中。

●川崎水墨の会 (高津区末長261の9、平沢嘉靖代表) 水墨画のわかりやすい指導と中国美術の話を、国籍問わず和気あいあいと楽しんでいきます。4月12日(水)から毎月第1水曜、13時半から市教文で。講師は中国出身で94年日展入選の王青さん。会費1万円(3カ月分) 連絡は ☎(865) 8296の代表宅へ。

●工房赤いふうせんボランティア (多摩区登戸3528の7、担当小寺草子) 知的障害者が機織りをしながら働いています。障害を持ちながら自分のライフスタイルを築こうとする人たちを職員、ボランティアが援助しています。現在、出来上がった布を袋(ポーチ)に仕立てる方と、リサイクルショップ「トトロ」のお店のボランティア(月1回)を募集しています。連絡は ☎(935) 2678の同工房へ。

●川崎中国語教室 (川崎区京町1の10の18、植山利昭代表) 中国からの留学生と楽しく学んでいます。入

門クラスが火曜▽初級クラス(中国式ローマ字を発音できる方)が水曜▽聴カクラス(聴く能力と会話力の

小誌配布場所は

市内177カ所

お近くでお取り下さい

小誌は各区役所、支所、出張所、市民館、分館、図書館、保健所、社会福祉協議会と次の所で配布しています。

「川崎区」さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽川崎信用金庫本店・川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・藤崎出張所▽横浜銀行川崎支店・大島支店・大師支店▽住友銀行川崎支店▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川崎支店▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎Bエ店・アゼリア店▽当事業団情報コーナー(教育文化会館)▽市立川崎図書館▽市立体育館▽青少年センター▽市役所市民相談室▽労働

アップ)が月曜。いずれも18時半から、県川崎合同庁舎(京急八丁駅下車)で。入会金5千円、月謝5千円

(ただし、3カ月前納)体験学習も歓迎。連絡は ☎(344) 8921の植山まで。

会館内労働資料室▽ヨネッティー堤根▽サンライフ川崎▽浮島町公園▽川崎マリエン▽川崎行政サービスコーナー▽川崎愛泉ホーム▽かわさき情報プラザ▽パン工房「パバゲーン」▽ライプハウス「JAZZびあにしも」

なかはら▽中小企業婦人会館▽総合自治会館▽会館とどろき▽フードハウス大野屋小杉店・住吉店・中原店▽国際交流センター▽小杉行政サービスコーナー▽公文書館

「幸区」川崎信用金庫鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所▽横浜銀行御幸支店・鹿島田支店▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽産業振興会館▽県立勤労女性会館

「高津区」川崎信用金庫子母口支店・高津支店・二子新地出張所・久地支店・野川支店・梶ヶ谷支店▽横浜銀行溝口支店▽さくら銀行溝口支店▽東京電力高津営業所▽市民プラザマイトーヨーカドー溝口店▽溝ノ口郵便局▽大山街道ふるさと館

「中原区」川崎信用金庫新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・武蔵中原支店・向河原支店・苅宿出張所▽横浜銀行武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店▽神奈川県労働金庫中原支店▽市立井田病院▽市民ミュージアム▽エポック

「宮前区」川崎信用金庫向ヶ丘支店・有馬支店▽横浜銀行鷺沼支店・川崎北部市場支店▽住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大病院▽青少年の家

店▽横浜銀行登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ランド駅前支店▽JR登戸駅▽東京電力生田営業所▽画廊ランプ屋▽登戸ドレスメーカー学院▽日本民家園▽青少年科学館▽青少年創作センター▽フルーツパーク▽緑化センター▽伝統工芸館▽フードハウス大野屋長尾店

「麻生区」川崎信用金庫 柿生支店・百合丘支店・新百合丘支店▽横浜銀行百合丘支店・新百合丘支店・柿生支店▽住友銀行新百合丘支店▽さくら銀行柿生支店▽神奈川県労働金庫

TVECCルネサンス・バロックの部

川崎の2合唱団が銀賞

第10回東京ヴォーカルアンサンブルコンテストTVEC(東京都合唱連盟主催、都教委・朝日新聞社など後援)ルネサンス・バロックの部が2月18日、東京都文京区の尚美学園パリオホールであり、関東近県をふくむ21団体が参加した。

川崎市からは、ゆりがおか児童合唱団のシニアの部「コール・リーリエ」(山田栄子指揮、女声12人)や「Sotto Voce Hiro」(混声10人)などが参加し、両団体とも銀賞を

ミニニュース

受賞した。同部門は、14〜18世紀の宗教曲や世俗曲を原語(ラテン語)で合唱。歌詞のもつ繊細なニュアンスやその当時の微妙な情緒をどのようにに表現することができるかなどで歌唱力を競った。「コール・リーリエ」の山田栄子さんは「昨年の金賞受賞メンバーのうち、今回も出場できた団員は5人。受賞は無理と思ひ、恥をかいたのも勉強のうち」と練習し出場しました。講評を今後の糧にして、さらに努力します」と控え目に喜びを話した。

新百合丘支店▽つつみ歯科新百合丘▽ホワイト急便金程店▽有隣堂新百合丘店▽麻生スポーツセンター▽福祉バルあさお▽川崎新都心情報センター▽ヨネツティー王禅寺▽黒川青少年野外活動センター▽ゆりすトア百合丘本店・柿生店

読者の声

今後も技術の向上に努力
麻生フィル・マネージャー、倉田典明さん

先日は私たちの第20回麻生フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に聴きにきていただき、またステージ・アップ新春号の編集後記に感想まで載せていただき、ありがとうございます。今後も団員一同、技術の向上をめざして努力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

編集チームからお願ひ

「ミニニュース」読者の声の原稿をステージ・アップまでお寄せ下さい。

編集後記

今号の「いまを話す」のゲスト、高橋眞知子さんのインタビューは、ある意味でつらい取材でした▼高橋さん宅のリビングルームにお邪魔して、目に入ったのは悠君が元気だったころ、遊んだワルトラマンのおもちゃや学校で描いた絵などでした▼「ご家族の心の中に悠君は生きています」と、インタビュアーの椎野和枝さんは実感したといひます▼悠君は一時、快方に向かい骨髄移植を受けましたが、九歳の生涯を閉じるのです▼それでも、眞知子さんが挫折することなく、骨髄バンクのボランティアを続けられるエネルギーは、どこから出てくるのでしょうか▼「二十一年間の教員の時の教え子が、私の生き方を見ている」のも支えの一つでしょうが、最愛の息子の死と向き合う中で「すべての子供への母性愛」へ「心の昇華」があったように思えてなりません▼「いのちは地球より重い」とよく言われますが、それを生活の中から実践することは難しいことです▼三月号の李「夏牧師のお話」も「いのち、人権」問題を国際化社会の中で私たちが日本人がどう考え、どう「けじめ」をつけるのかが問われている重い課題です。合わせて一読下さい。

発行 財団法人川崎市生涯学習振興事業団

〒210 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合ビル
電話(044)9525000 FAX(044)9521350
〒210 川崎市麻生区富士見二の三 教育文化会館一階
電話(044)23316150

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の三 教育文化会館一階
電話(044)23316150

今年も科学館がおもしろい!

主なイベント

- わくわく実験教室 (第2土曜日)
- サイエンスショー (第4土曜日)
- やさしい先端技術講座 (年6回)
- 各種工作教室 その他

見て
さわって
体験する



館内はコンパニオンが分りやすく
ご案内します。



東芝科学館

〒210 川崎市幸区小向東芝町1 ☎044-549-2200

ぜいたく
贅沢しませんか? 日常生活で……

わが家でプロのマッサージと健康によい水

モミモミ タタキ
宥 けんせい 聖



布地/丸編み
EP575F (ベージュ)
標準価格 175,000円(税別)

医療用具番号63日1997

- ①こぶし感覚のタタキマッサージ。
- ②強力ポイントもみ付。

タタキパイプ



EV278 標準価格11,000円(税別)

- ①速さ調節でタタキ、振動が選べます
- ②速度運動型パワーコントロール付
- ③指感覚のフィンガーアタッチメント付



ナショナル
アルカリイオン整水器
ミストピア

TK737-W(白)
標準価格110,000円(税別)

快適を科学するナショナル製品が 格安で

カタログのご請求
お問い合わせ

☎ 044-954-4154

株ヒューマンテック
コーポレーション

〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306